

KURA NW GP

第6回 RA研究会セッション
人社系分野への研究支援
と研究評価
ーグッドプラクティスを探るー

京都大学URAネットワーク
人文社会系支援

20140917

京都大学 本部構内(文系)URA室
稲石 奈津子

部局や研究者のニーズ

Mission

大学としての研究戦略

プロジェクト
URA

単独部局
URA

複数部局
URA

本部
URA

部局URA

担当プロジェクト
の研究者

担当研究科・
研究所の研究者

担当研究科・
研究所の研究者

大学執行部
本部事務
全学の研究者

+

担当分野

Stakeholder

京大URAネットワーク構築事業 審査員コメント

(ex.本部構内(文系)URA室)

- ・人文社会科学全体のけん引役となるような活動が期待される
- ・将来的には人文社会系を包含するように、URAが研究活動を積極的に管理していくことを期待する

KURA NW

北部学術研究 支援室

理学研究科、農学研究科、基礎物理学研究
所、数理解析研究所、霊長類研究所、生態
学研究センター、野生動物研究センター、
低温物質科学研究センター、
フィールド科学教育研究センター

3

本部構内（文系） URA室

文学研究科、教育学研究科、経済学
研究科、経営管理大学院、人文科学
研究所、経済研究所

4

本部構内（理系） URA室

情報学研究科、エネルギー科学研究
科、生命科学研究科、地球環境学、
学術情報メディアセンター、男女共
同参画推進本部、原子炉実験所

2

医学URA室

医学研究科、医学部附属病院

2

学術研究支援室

25

吉田南URA室

人間・環境学研究科、物質-細胞
統合システム拠点

3

南西地区URA室

ウイルス研究所、再生医科学研究所、iPS
細胞研究所、薬学研究科、
東南アジア研究所、アジア・アフリカ地域
研究研究科、地域研究統合情報センター、
アフリカ地域研究資料センター、こころの
未来研究センター

4

工学研究科附属 学術研究支援室

工学研究科
CKプロジェクト

1

宇治地区URA室

化学研究所、エネルギー理工学研究
所、生存圏研究所、防災研究所

3

京都大学本部構内(文系)URA室

[ホーム](#)[お知らせ](#)[研究資金情報](#)[支援内容と実績](#)[URA室について](#)[お問い合わせ](#)[リンク](#)

京都大学百周年時計台記念館

研究資金の申請支援やプロジェクト立ち上げ支援、アウトリーチ活動など、本部構内(文系)URA室では、研究者のみなさんが必要とするサポートを行います。

NEWS & INFORMATION

[全て](#)[📅 イベント](#)[📄 URA室より](#)[📄 その他](#)[📄 一覧へ](#)

- 2014.08.01 [URA室より](#) [「民間助成財団の助成金獲得に向けて」\(2014.8.27-28\)開催のお知らせ](#)
- 2014.07.28 [イベント](#) [「学位プログラムをどうデザインするか? - 歴史学分野におけるチューニングの事例から -」\(2014.9.1\)開催のお知らせ](#)
- 2014.07.28 [イベント](#) [「ラーニングアナリティクスに向けた学習データ利活用に関する技術動向と大学教育ビッグサイエンスの可能性」\(2014.9.9\)開催のお知らせ](#)
- 2014.07.18 [イベント](#) [IDE大学セミナー「大学教育のオープン化―黒船かノアの方舟か―」\(2014.8.22\)開催のお知らせ](#)

文系の資金獲得状況 理系と比較して獲得できる 資金源の少なさ

RA-P53

「人文社会学系への支援のあり方」セッションを通して

京都大学
稲石宗洋子：吉田地区URA室 神谷俊郎：南西地区URA室 白井智哉：学術研究支援室(KURA)

京都大学のURAネットワークは、学術研究支援室(通称:本部URA室)と、キャンパス各地に配された部局URA室からなり、
部局URA室のうち、「吉田地区URA室」は、文学研究科、経済学研究科など、人文社会学系のみを担当するセッションです。
また、「南西地区URA室」は、アジア・アフリカ地域研究のための4つの部局と、心理系研究のための1つの部局を担当対象に合んでいます。
吉田地区URA室と南西地区URA室は、いずれも平成22年1月に発足しました。

京都大学URAネットワークは、人文社会学系研究・教育への支援を積極的に取り組んでいます。
しかし、URAという仕組みは基本的に理系分野への支援を念頭にデザインされているので、支援方法やスキルが
そのまま文系支援に活用できないことも多々あります。

そこで、京都大学URAネットワークでは、「人文社会学系支援タスクフォース」を立ち上げ、
人文社会学系支援へのあり方について議論を重ねてきました。
そして今回、全国の研究支援者が集まるこのシンポジウム「研究会の開催にあわせて、
有学誌にはよりよづく機会が広がる機会がないか」人文社会学系研究支援について
あらためて考えていたところということで、11月19日の「学術セッション
「人文社会学系への支援のあり方」を全国、実施することになりました。

京都大学
URAネット
ワーク

私たちが
やってきたこと
(2013年1月～)

事務を
行いつつ
考えたこと

感じる「理系と文系の違い」

人文社会学
支援タスク
フォースの
立ち上げ

研究に必要な資金の額が違う...文字通り桁が違ったり
・ファンドの種類・数が違う...大型資金獲得の
チャンスが少ない
・国際協力・発信に対する意識が違う...英語で国際
ジャーナルに掲載する=研究成果という認識が、理系に
比べて薄い分野も...あるいは分野によっては必要ない?
・業績数の算定方法が違う...数値に表れない業績はどどう?
(日本語で書いた一稿書など)
・研究スタイルが違う...チーム型vs個人型
・社会のニーズが違う...「産学連携」?「イノベーション」?
・研究意識スタイルの違い...研究志付掲載の書庫
・ところで、「文学」と「社会学」って一緒にいいの?

パネル
セッション開催
へ向けて

情報交換の必要性

どうやら、理系と文系では
研究文化が違うらしい

人文社会学支援に特化したパネルセッションの開催...
とにかく仲間が欲しい!情報交換がしたい!
全国の人文社会学専門のURAに声を掛けて集まってもらおう...
と思ったが、いかにせん人数が少ない!
そこで、URAを名乗っていないが、文系部局で研究支援業務を
行っている人(村下さん、山田さん)に参加して頂き、お話を伺い
することになった

文系URAは何をすべきか、というコメントを頂戴!

講演RA-S06(パネル・セッション)「人文社会学系への支援のあり方」登壇者

- 稲石宗洋子 京都大学 吉田地区URA室(主として経済、経営管理、文学、教育の研究科等担当)/URA
- 村上善枝 東京大学 政策ビジョン研究センター/URA
- 村下明子 大阪大学大学院 国際公共政策研究科/助手・研究支援室長
- 山田敏子 大阪大学大学院 法学研究科/特任研究員・研究推進担当
- 神谷俊郎(司会) 京都大学 南西地区URA室(主として地域研究系部局を担当)/URA

私たちは本当に役に立っているんだろうか? 自問自答しながら日々仕事をしています

文理 学際 産学連携

実験心理学 脳科学 科学倫理 環境問題
環境エネルギー 医療経済 医療政策
アントレプレナー 情報通信

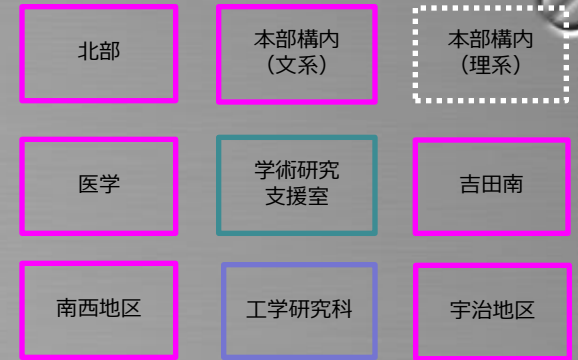
理系の資金源も可能性あり

科研費

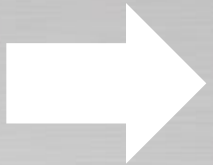
研究者や部局執行部の関心は最大



H25年度: 全URA室で科研費WG



府省庁系補助金



課題がかなり
限られている！

JSPS

課題設定による先導的人文・社会科学研究推進事業

RISTEX

戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)

民間助成財団助成金



人文系の研究にとって
貴重な資金源では？

University Research Administrator

本部構内
(文系) 室で
URA支援を
行います！

科研費 申請支援

平成 27 年度 科研費 募集開始

本部構内(文系)URA 室 申請支援期間
～ 10 月中旬頃まで

申請支援の内容

- ・URA 室に支援を希望される研究者の方は、下記の連絡先にメール等でご一報の上、研究計画調査をお送り下さい。
- ・URA が科研費の審査委員の観点(評定基準)からレビューした結果をお戻しします。
- ・研究計画調査が書き上がっていない状態での相談(研究計画調査の組み立て・構造についてのご相談や、科研費に関する情報提供など)もお受け致します。

【お問い合わせ先】 本部構内(文系)URA 室
e-mail : y-ura@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp Tel : 075-753-3525 (内線: 3525、83525)
居室 : 京都大学工学部土木工学教室本館 2 階 206 号室 担当 : 荒井、稲石、米満

外部資金申請支援のスキーム作り

Step 1

情報整備



Step 2

知識共有



Step 3

個別申請支援

[雑について](#)[公募一覧情報を見る](#)[メール登録・解除](#)[公募情報一覧へ](#)[メールでお知らせを登録](#)

フリーワード



分野

理工系 医歯薬・生命系 人文・社会系 若手研究者対象 その他の研究領域 教育への支援事業

目的

研究 教育 派遣 招へい 国際 その他

金額

～



しめきり

公募中のもの 公募中のもの + 締め切りが過ぎたもの[この条件で検索](#)

📅 最近追加された公募情報

- 2014年08月05日 【厚生労働省】 労災疾病臨床研究事業費補助金
- 2014年08月04日 【総務省】 平成26年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE） 電波有効利用促進型研究開発（第2回研究開発課題公募）
- 2014年08月04日 【独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構】 平成26年度革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究・補充研究）
- 2014年08月04日 【厚生労働省】 厚生労働科学研究費補助金 平成26年度 厚生労働科学研究費補助金 戦略研究「健康医療分野における大規模データの分析及び基盤整備に関する研究

KURA NW

外部資金獲得に向けた 情報整備

各種公募情報

京都大学外部資金公募情報サイト「鎗」
文系共通事務部HP掲載情報
+
文系助成財団一覧表 HP アーカイブ
文部科学省、他府省庁系補助金情報

キーワード検索による

公募情報

マッチング

外部資金情報配信サービス



マッチング情報 押し売りは抵抗あり？
教授会で説明、意向伺い
本部構内(文系)は9月より試行中

北部

本部構内
(文系)

本部構内
(理系)

医学

学術研究
支援室

吉田南

南西地区

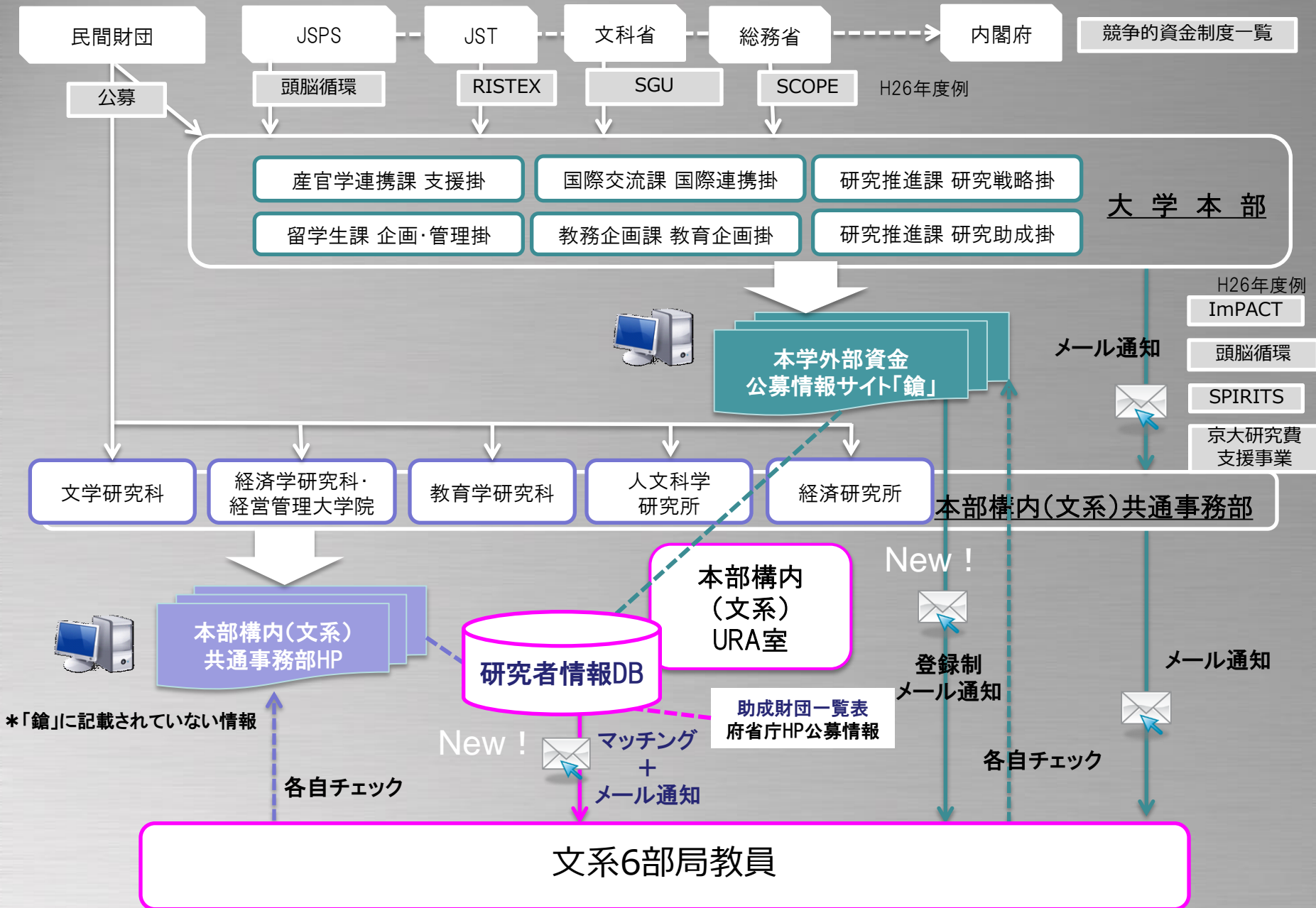
工学研究科

宇治地区

研究者情報データベース

研究科・研究所のHP・パンフレット
京大教育研究活動DB
科研費DB
+上記に情報の無い場合
researchmap、Wikipedia

本部構内文系6部局ファンド情報提供ルート



民間助成財団に関する ナレッジ



若手研究者向けレクチャー

民間助成財団の 助成金獲得に向けて

2014年
8月27日[水]
28日[木]
各日 14:00 ~ 16:00

会場：京都大学 本部構内
(京都市左京区吉田本町)
法経済学部東館
B1F みずほホール

対象者：京都大学教職員、大学院生
定員：50名
参加費：無料

8月27日(水) 14:00 ~ 16:00

14:00 ~ 15:00

民間助成財団と助成金獲得に向けての留意点

(講演 45分+質疑応答 15分)

講師：公益財団法人 助成財団センター プログラム・ディレクター 渡辺元氏

15:00 ~ 15:30

助成財団に教わる情報収集から申請まで①

(講演 25分+質疑応答 5分)

講師：公益財団法人 武田科学振興財団 研究助成事務局 部長 村田旭氏

15:30 ~ 16:00

助成金獲得の成功例と研究成果のアウトリーチ①

(講演 25分+質疑応答 5分)

講師：京大生存圏研究所 准教授 三谷友彦氏

(平成17年度・26年度 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団
平成21年度 村田学術振興財団、平成24年度国際科学技術財団等 採択実績)

8月28日(木) 14:00 ~ 16:00

14:00 ~ 15:00

研究計画とプロジェクト・マネジメント

(講演 50分+質疑応答 10分)

講師：京都大学 学術研究支援室 副室長・シニア URA 武藤誠太郎氏

15:00 ~ 15:30

助成財団に教わる情報収集から申請まで②

(講演 25分+質疑応答 5分)

講師：公益財団法人 サントリー文化財団 事務局長 浜橋元氏

15:30 ~ 16:00

助成金獲得の成功例と研究成果のアウトリーチ②

(講演 25分+質疑応答 5分)

講師：京都大学 文学研究科・アジア研究教育ユニット 特定准教授 安里和晃氏

(2012年度トヨタ財団国際助成プログラム 採択実績)

主催：京都大学 URA ネットワーク

申込・お問い合わせ：京都大学 本部構内(文系)JURA 室・稲石

e-mail: inaihi.natsuko.8s@kyoto-u.ac.jp

tel: 075-753-3525



外部資金申請以外の支援

国際ジャーナル投稿に向けた

人文社会系対象

英語論文改善ワークショップ

2014年 3月10日(月)・11日(火)・12日(水)
9:00-17:30 9:00-17:30 9:00-16:30

会場 3月10日(月)・12日(水)

本部構内 総合研究2号館 4階 アジア・アフリカ地域研究研究科会議室(447号室)

3月11日(火)

本部構内 総合研究2号館 4階 OPEN CONFERENCE(共同利用スペース)

人文社会系の若手研究者・大学院生を対象とした、英語論文執筆セミナー/ワークショップを開催します。シンガポール国立大学から講師をお招きし、講義+ワークショップの形式で、英語論文を書く際のノウハウや、英文ジャーナルへの投稿の際のマナーやコツなどを伝授していただきます。奮ってご参加下さい!

講師

Paul Harold KRATOSKA, Ph. D.

Publishing Director, NUS Press, National University of Singapore

Paul Robert NERNEY, M. A.

Senior Lecturer, Centre for English Language Communication (CELC), National University of Singapore

Suzan Lopez NERNEY, M. A.

Lecturer, Centre for English Language Communication (CELC), National University of Singapore

主催: 京都大学 学術研究支援室

南西地区URA室

吉田南URA室

吉田地区(文系部局)URA室

* 本事業は「平成25年度 研究大学強化促進事業」の一環として実施いたします。

協力: アジア・アフリカ地域研究研究科

受講資格

本学に所属する研究者・大学院生で、現在英語で執筆中の論文ドラフトをお持ちの方
※事前にドラフトを講師へ送付し、ワークショップ当日にそれを添削する形式で講義が進行します。

定員

16名 (応募者多数の場合、選考) ※3日間全てに出席出来る方を優先します

受講料

無料

応募方法

以下の情報を日本語と英語の両方で下記の申込み先までメールにてお送り下さい。
・氏名・所属・肩書き・email・電話番号・上記3日間のうち参加可能な日
また、英語で執筆中の論文ドラフトを添付でお送り下さい。

応募締切

2014年 2月24日(月) 10:00 ※ドラフトの送付を含む

申込み・問合せ

南西地区URA室 担当・神谷
kamiya.tosirou.3m@kyoto-u.ac.jp 075-366-7127(内線19-7127)

北部

本部構内
(文系)

本部構内
(理系)

医学

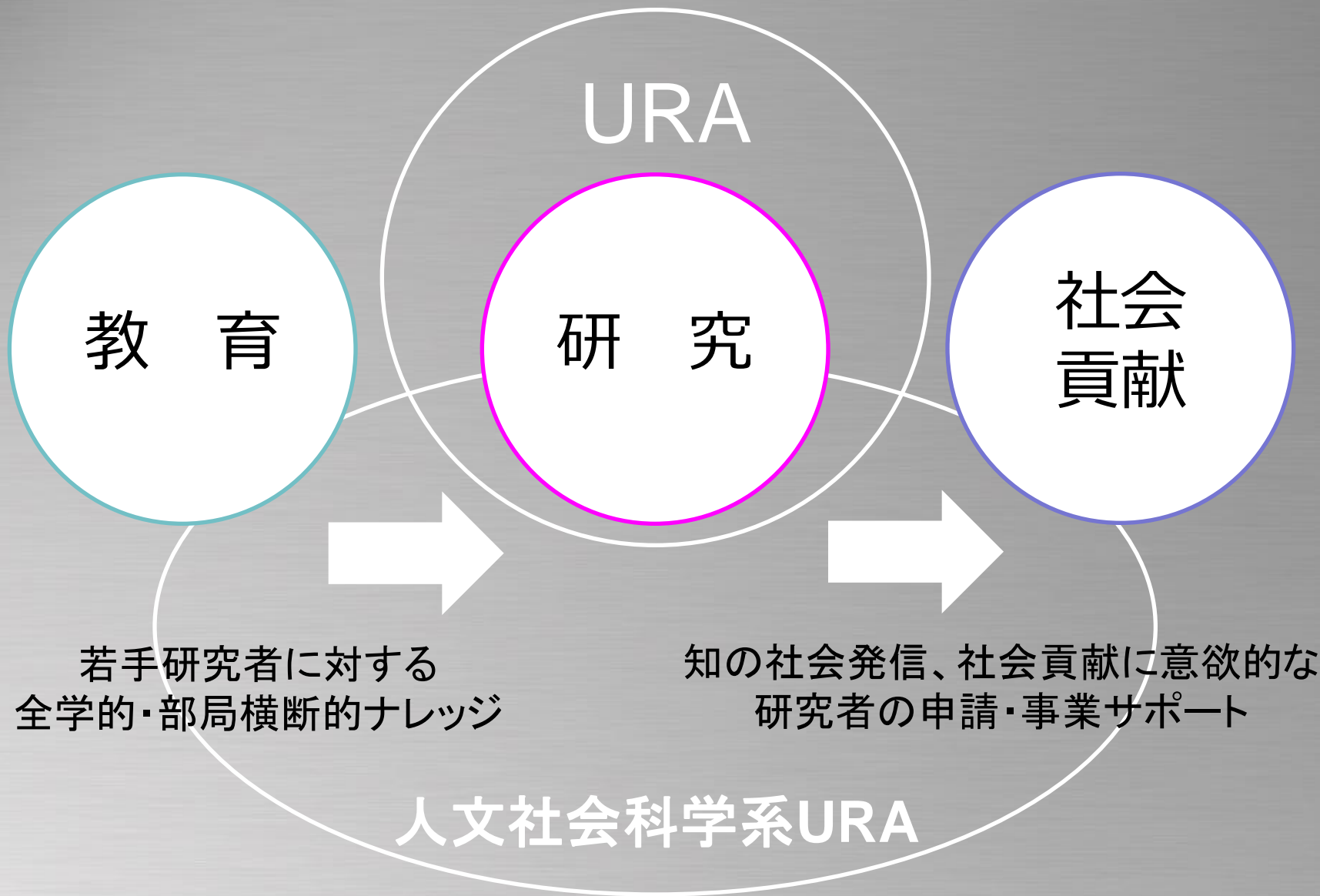
学術研究
支援室

吉田南

南西地区

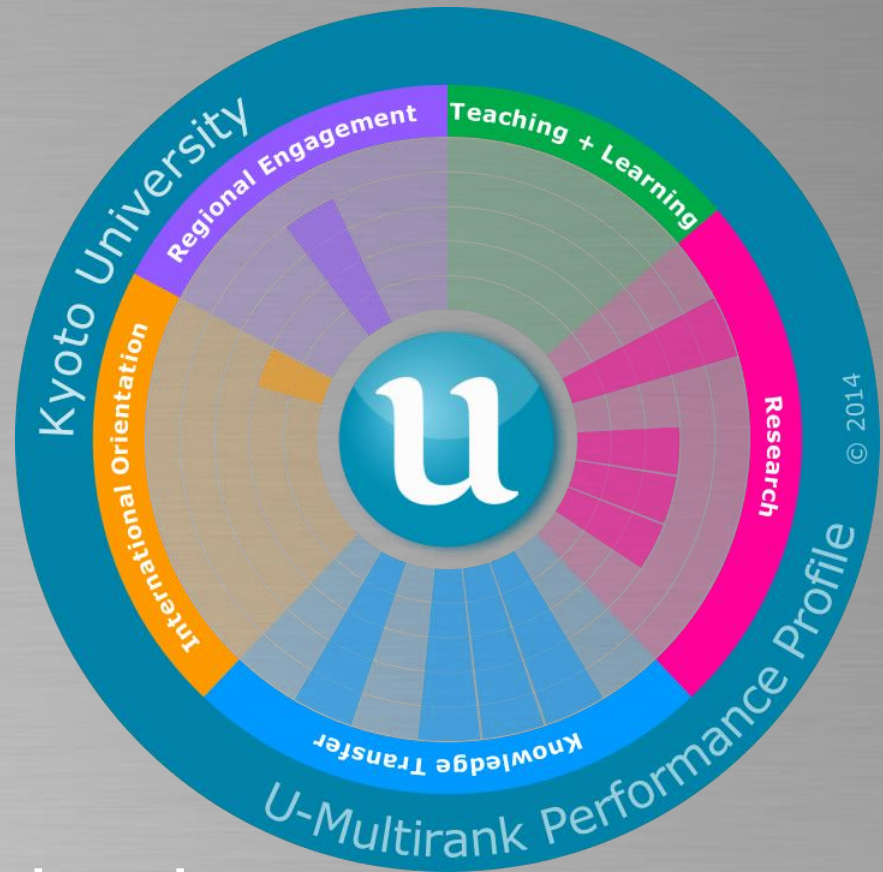
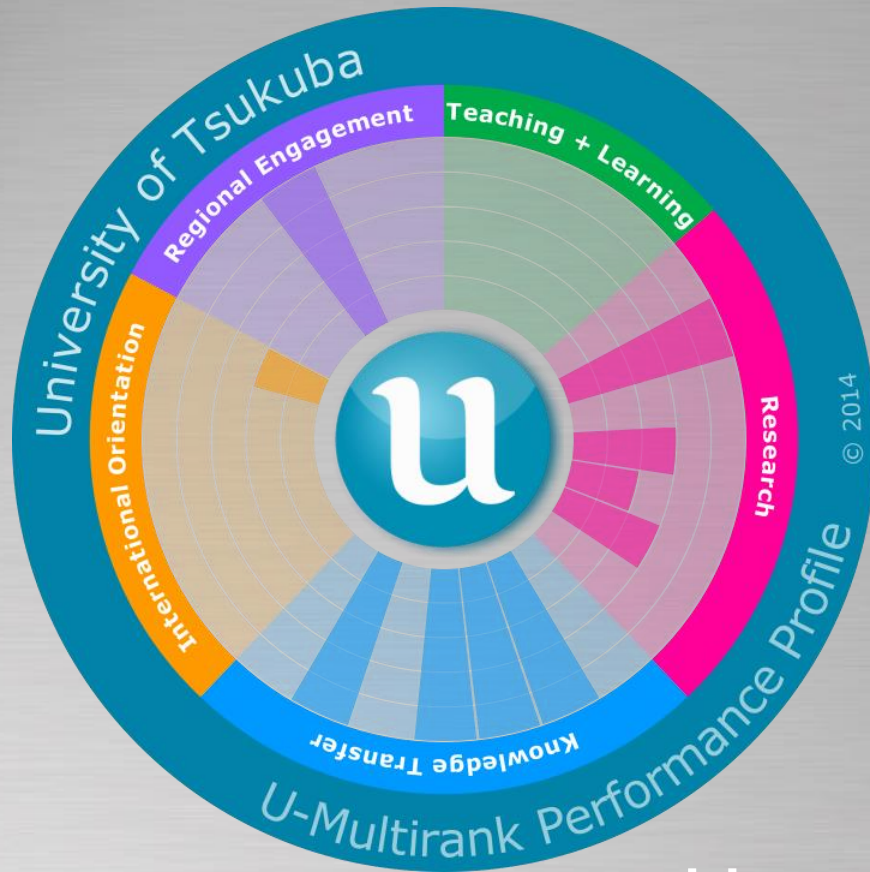
工学研究科

宇治地区



教育・社会貢献における評価指標

多元的マッピングとランキング



U-multirank

教育 研究 知識移転 国際性 地域貢献

URA GO BETWEENS

